

病院理念
『患者さまの不安をとること』
当院の基本方針
「地域に根ざした安心できる医療」
「精神科医療の充実」
「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

本年の標語『学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院 ～それが平川病院～』

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/> 〔e-mail〕 hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



高尾便

高尾便	
病院発	駅発
9:15	9:40
10:15	10:30
11:30	11:50
13:30	13:50
14:30	14:50
15:30	15:50
17:00	—

八王子便	
病院発	駅発
9:10	9:40
10:30	11:10
12:30	13:00
15:10	15:45
17:00	—



八王子便

送迎バスの時刻表が変わりました

令和3年4月26日から、送迎バスの運行を変更しました。第1の理由は、委託先の武州交通の運転士さんの就労条件の改善のためです。今までの時刻表では、昼の休憩時間が十分に取れなくなっており、安全な運行のためにも業務改善が求められてきました。また、今までは、八王子便と高尾便の運転士さんの昼休みは12時から13時になるような形でしたが、運転士さんからのご厚意でこの時間でなくてもいいとのお話をいただき、今回のような時刻表になりました。変更したところは何処も不安ですが、八王子発13時30分が13時になったところが、一番心配をしております。発達障害の専門外来に来られる患者さん、ご家族様にはご迷惑をおかけしているかもしれません。お詫び申し上げます。

また、令和3年4月から、病院のホームページもリニューアルし、ここにも時刻表を載せています。スマートフォンでも見やすいようにデザインしてもらっていますが、改善点などあれば、是非、ご指導いただければと思います。

院長 平川 淳一

【表紙】 院長挨拶 【P2】 事務から 【P3】 地域生活支援室より 【P4】 退院時アンケート推移グラフ
【P5】 認知症疾患医療センターの動き 【P6】 新入職医師の紹介

施設管理係の仕事

事務から

季節が変わり段々と暖かくなりましたね。施設係の仕事報告をさせていただきます。

私達、施設管理係は施設内補修や美観管理、器具などの修理が主な仕事になります。今回は美観管理の仕事の一つとして、南館 2F にある中庭の現在の様子をお伝えしたいと思います。

中央部分は一画、緑になるように芝生があり、周りには花壇が二か所、樹木が三か所、そしてオブジェがあります。まず真ん中にある芝生ですが、毎年、刈込や肥料、雑草取りなど、一年に渡って手入れ、管理をしています。芝生は皆さんが入って踏む事で、より強く根がはるので、ぜひ芝生に入ってみませんか？

花壇の花は今回新たに 4 種類を入れ替え（ゼラニウム、マリーゴールド、エノシダ、マーガレット）、同じ種類でも色を変えて植栽しました。また花の選定などは開花が長く、大きな花がつくもの、色が鮮やかに咲くもので選びました。

樹木はツツジやハナミズキが植樹されており、春先に花をつけ始めます。これからも色彩よく、楽しめるみんなの庭を造りたいと思います。

他には病院の入り口からバスロータリー周りにかけて桜やツツジなどがあり、南館へと上がる坂には山ユリが咲いています。様々な植物が敷地内にありますので、ちょっとした気分転換に見てください。

総務課 施設管理係 主任 埴 典仁



南館 中庭



エノシダ

ゼラニウム

マーガレット



エノマリーゴールド

美山ヒルズの生活支援について

地域生活支援室より

美山ヒルズは障害がある方に、日常生活上の介護や支援を提供し共同生活（グループホーム）を営む住居の場です。現在2か所にてグループホームを展開しております。一つは通過型指定で概ね2年間で生活スキルを身に付けて頂き、地域生活へ移行します。もう一つは滞在型指定で利用期限のないホームとなります。今回は通過型で提供している生活支援をご紹介します。



金銭管理・・・収入に応じて、やりくりができるよう支援します。

お金を使いすぎてしまう方には出納帳を利用していただき、それでもご自身でやりくりが難しい場合は一時的に金銭を預かる支援も行っています。

➡退居後、金銭管理に自信のない方は地域のサービスである社会福祉協議会の権利擁護事業を利用されている方もいらっしゃいます。

掃除支援・・・個々の能力や、どこまできれいにするかといった個人差が顕著です。

掃除が苦手な方は一緒に行う事から始め、定期的に掃除を行うといった習慣化を目指します。

➡習得が難しい方は退居後ホームヘルプサービスを導入する方もいらっしゃいます。

食生活の支援・・・食事の調達から調理等個々に応じて対応しています。

自炊される方、炊飯を自身で行い、おかずのみ購入される方、ご飯付きで宅配食を注文されている方もいらっしゃいます。現代は冷凍食品や1人暮らし用のおかずの商品も豊富にスーパーにあり便利になっています。また美山ヒルズでは月1回の料理会で基本的な調理方法を学んだり、栄養に関する知識をつけて頂いたりしています。最近では希望者のみ、自主参加での料理会も行っており、調理の便利グッズを紹介したり、簡単に安く栄養バランスのとれた食事を紹介したりもしています。

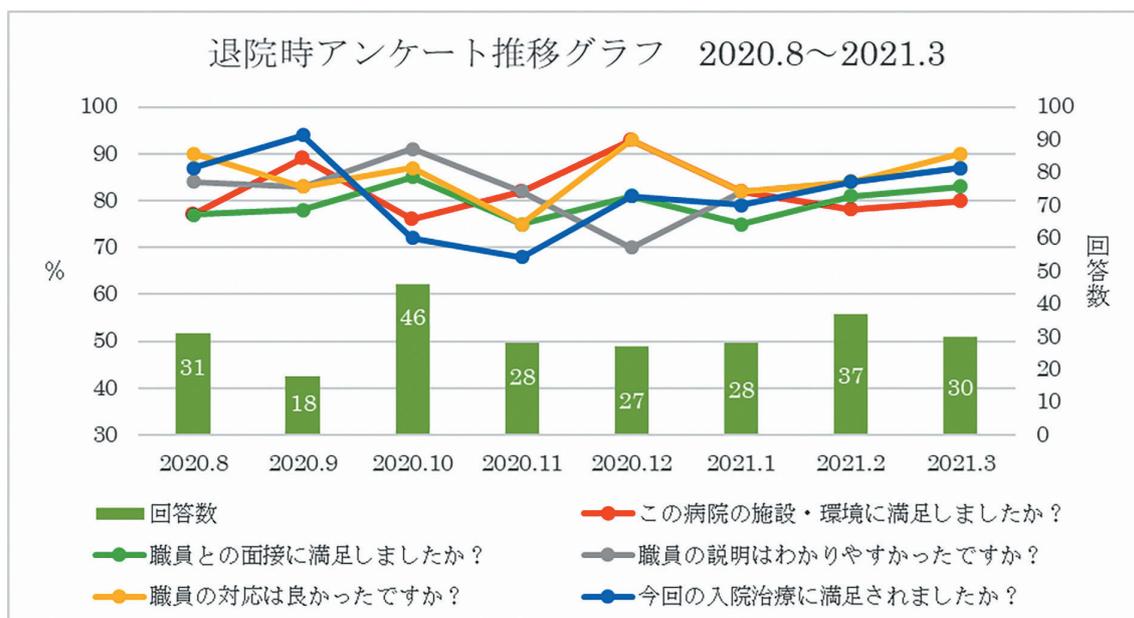
ゴミ出し・・・分別が細分化されているため戸惑う利用者様も多く、ゴミ出しの分別のお手伝いや、収集日の声かけなど行っています。

このように通過型での支援は多岐にわたり、常に退居後を見据えた生活スタイルをイメージし、出来る事は練習し習得へ、ご本人だけで難しい場合は地域サービスへつなげ、退居に向けての生活の準備を行っています。

美山ヒルズ 星田 臣子

退院時アンケート推移グラフ –2020.8～2021.3–

平川病院では、退院される患者さまにアンケートのご協力を頂き、その集計結果を毎月検討しております。2020.5号・2020.10号の広報誌「みやま」へ掲載した続編として、「この病院の施設・環境に満足しましたか」「職員との面接に満足しましたか」「職員の説明はわかりやすかったですか」「職員の対応は良かったですか」「今回の入院治療に満足されました」の5項目（前回同様の項目）を抜粋し、データをグラフ化しました。



※折れ線グラフは、アンケートにて「はい」と回答いただいたパーセント、棒グラフは有効回答数を示します。

2018年11月より、委員会にて「回答数を増加させる」ことを再検討し、病棟中心に様々な取り組みを開始しました。回答数の平均は前月号25.2、今月号は30.6と回答数が増加傾向となっており、ご回答いただきました患者さま・ご家族さまに御礼を申し上げます。引き続き、更なる「回答数を増加させる」を目指し取り組んでまいります。

上記グラフの推移を見ると、2020.11まで全体的に右肩下がりとなり、前回より若干低い回答をいただいています。「職員の説明はわかりやすかった」の回答がほぼ70%～90%を占め、「職員の対応は良かった」の回答は2020.12に90%超の回答を頂くなど、高水準の%を維持しております。日頃より取り組んでいる職員の対応（接遇）等の質向上が実施された結果が表れ、一定のご評価を頂いたと職員一同感謝申し上げますとともに、この結果は職員への励みとなります。

ただ、2020.11に「今回の入院治療に満足されましたか」の回答が70%を下回る結果がございます。その後の推移を確認すると一時的ではあったものの、どのような改善が必要なのか検討し、高評価を頂けるよう努めてまいります。

今後も引き続き、医療についての説明と合意をより丁寧に行い、患者さまへ満足いただけるよう高度な医療提供を目指してまいります。何かございましたら、外来や病棟に設置しております意見箱に、是非、ご意見を頂戴いただければ幸いです。

事例検討会レポート(4月開催)

認知症疾患医療センターの動き

平川病院の認知症疾患医療センターでは、毎月第1月曜日18時30分から「事例検討会」を開催しています。介護や医療の現場で働く専門職の方に気軽に参加していただき、普段、聞きたくてもなかなか聞く機会がなかったり、他の人の意見を聞いてみたいと思ったりした時に、活用していただく場になれば、と思い開催しています。

コロナ禍以前は、参加者のみなさまには会場に集まっていたいていました。会が終わってもお互いご挨拶をしたり、少し雑談をしたりしながら学ぶ場だけでなく、交流できる場としても活用していただいていた。開催する私たちも運営をする緊張感とともに、楽しい時間でもありました。しかし、新型コロナウイルスの感染が増えてきた令和2年度の上半期(4月から9月)は会場に集まる形での開催は控えなければならなくなり、この間に今後の開催方法を検討し、下半期の10月からオンラインで再開することができました。

4月5日(月)にオンラインで行った会の様子をご紹介します。この回では、「家族介護者の会」をテーマに意見交換をし、地域包括支援センターの職員やケアマネジャー、医師等20名の方に参加していただきました。今回、このテーマを選んだのは、コロナ

禍において、「家族介護者の会」でも、会員の方が集まって定期的に行っていた例会ができなくなってしまい、会の運営について悩まれているというお話を耳にすることがあったからです。そこで4月の事例検討会に先立ち、当センターで南多摩医療圏(八王子市、日野市、多摩市、稲城市、町田市)の5市の家族会の代表の方や認知症の人と家族の会の東京支部の支部長、八王子市のケアラズカフェわたぼうしの代表者に、ご参加いただき、家族会ミーティングを開き、そこでうかがったお話を紹介し、意見交換をしました。

事例検討会の参加者の方には、家族会の例会に参加したり、家族会から講演会の講師の依頼があり引き受けたりすることで家族会にかかわったことがある方が多くいらっしゃいました。今後も家族会との関りを継続しながら、まだ、参加したことがないご家族にはご紹介するなど、「家族介護者の会」の運営を支援していくことにつながればと思いました。

当センターでは、今後も専門職の方にも役立つ研修を提供し、それをそれぞれの専門職の方々が、そしてセンターとしても認知症の方とご家族に還元できるようにしていきたいと思っています。

南多摩医療圏認知症疾患医療センター
センター長代理 精神保健福祉士 椎名 貴恵

職員紹介（医局：片山 渚）

4月から平川病院で勤務させていただいております片山 渚（かたやま なぎさ）と申します。極寒の岩手医科大学6年を過ごし、卒業後、東京慈恵医科大学で初期研修を終えました。その後同大学の精神神経学講座に入局し、今現在後期研修医3年目になります。

これまでに病棟管理、外来診療、リエゾン診療などを経験させていただき、今回アルコール病棟を担当させていただくことになりました。今後アルコール病棟以外の患者様とも携わらせていただく機会もあるかと思えます。

勤務させていただいてからまだ日は浅いですが、心の問題だけでなく入院中、退院後の身体機能の維持・向上にも目を向けたリハビリテーションにも尽力している様を見て、平川病院の包括的かつ全人的な雰囲気を感じております。病気だけでなく病人にもきちんと目を向けている素晴らしい環境であると痛感しております。研修の身であり、教えを乞う私としても大変に学びが多く、そのような環境で勤務できることを喜ばしく思っております。

若輩ではありますが、関わる皆様の一助になるよう努めて邁進していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いたします。



医局 片山 渚

当院は南多摩医療圏の地域拠点型認知症疾患医療センターです

東京都では、平成24年に指定された「地域拠点型認知症疾患医療センター」12カ所（当院含む）と平成29年11月迄に指定されている「地域連携型認知症疾患医療センター」40カ所、合わせて52カ所の医療機関において、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

認知症に関するご質問がありましたら、各地域のセンターまでお問い合わせ下さい。

尚、センター指定状況や役割の詳細等については、東京都公式ウェブサイト『とうきょう認知症ナビ』でご確認いただけます。

[とうきょう認知症ナビ](#)

[検索](#)

編集後記

新型コロナに異常気象、明るいネタが思い付かない昨今である。九州地方の梅雨入り宣言が16日にあり、例年より19日早く、観測史上2目に早いとのこと。関東の梅雨入りも間近のようです。桜が早く咲いたり、春が短く季節感が変わりつつあり、これも異常気象のひとつかと。少しでもワクチン接種が進み通常の生活に1日も早く戻れること、明るい話題を期待して……

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

